



Press Release

2019年5月10日

※本プレスリリースは、2019年5月7日にドイツ・ヘンケル本社が発表したプレスリリースの日本語訳版です。本プレスリリースは英語が原本であり、その内容・解釈については英文プレスリリースが優先します。

ヘンケル、2019年度の見通しを再確認

ヘンケル、第1四半期売上高は順調な伸びを記録

- 売上高は2.8%増の4,969百万ユーロ、既存事業売上高は0.7%増
- 調整後*の営業利益(EBIT)は5.6%減の795百万ユーロ
- 調整後*の売上高営業利益率(EBIT マージン)は140 ベーシスポイント減の16.0%
- 調整後*の優先株(一株)あたり利益(EPS)は1.34 ユーロを達成(為替変動の影響を除外すると6.3%減)
- フリーキャッシュフロー(純現金収支)は好調な伸び:523百万ユーロ
- 成長と競争力強化に投資

*一時所得、一時費用およびリストラ費用を除く

デュッセルドルフ – ヘンケル最高経営責任者のハンス・ファン・バイレンは、「厳しさを増す市場環境にもかかわらず、ヘンケルの第1四半期の売上高は、既存事業売上高、名目売上高ともに順調な伸びを記録しました。グループ全体で見た調整後の売上高営業利益率および調整後の優先株(一株)あたり利益は、見通しの範囲内となりました」と述べています。

全体として2019年度第1四半期の業績には、ばらつきが出ました。予想していた通り、アドヒーズ テクノロジー(接着技術)事業部門は、様々な産業で工業生産が低迷したことによる影響を受けたものの、今年後半には改善されると予想しています。

一般消費者向け事業部門では、ビューティーケア事業部門の業績が予想を下回りました。プロフェッショナル事業部門は、新ブランドとイノベーションの立ち上げに成功し引き続き優れた業績をあげている一方、リテール事業部門が西欧や中国などの主要地域で低迷しました。当社はビューティーケア事業部門の成長拡大と業績改善を目的とした対策を打ち出し、この状況を打開していく考えです。

一方で、ランドリー&ホームケア事業部門は好調なスタートを切りました。当事業部門においても、イノベーションと新製品の立ち上げが業績を支えました」

成長と競争力強化に投資

ハンス・ファン・バイレンは「当社は今後、事業の一層の強化に注力するとともに成長とデジタル化に投資し、通年の目標実現に向け、引き続き体制改革を進めていきます」と述べています。

ヘンケルは今年の初め、一般消費者向け事業部門を中心にさらなる成長機会を捉えるため、そしてデジタル化をより一層加速するために、成長投資を増額することを発表しました。そのほか、競争力の一層の強化を目的としてさまざまな対策を実施しています。

2019年の見通しを再確認

ハンス・ファン・バイレンは「当社は2019年の見通しを再確認しました。今年度の既存事業売上高を2~4%増と予想しています。また、調整後の売上高営業利益率(EBIT マージン)は16~17%増を見込んでいます。調整後の優先株(一株)あたり利益(EPS)については、為替変動の影響を除外して前年比一桁台半ばのパーセンテージで減少すると予想されます」と述べています。

2019年度第1四半期の売上高および利益

2019年度第1四半期の売上高は、2.8%増の4,969百万ユーロでした。為替変動と買収・売却の影響を除外した既存事業売上高は、0.7%増となりました。買収・売却の貢献は0.6%でした。為替変動による売上高への影響はプラス1.5%でした。

接着技術事業部門の既存事業売上高は、主にエレクトロニクスおよび自動車セクターの減速により、0.8%減となりました。ビューティーケア事業部門の既存事業売上高は、西欧地域および中国でリテール事業が低迷したことを主な理由に、前年同期比で2.2%減となりました。ランドリー&ホームケア事業部門は、主要市場で新製品およびイノベーションの立ち上げに成功したことから、既存事業売上高が4.7%増と非常に好調でした。

新興市場の既存事業売上高は2.2%増と好調で、今期もグループの既存事業売上高の成長に平均を上回る貢献を果たしました。成熟市場の既存事業売上高は0.4%減となりました。

西欧の既存事業売上高は1.3%減少、東欧の既存事業売上高は6.5%増加、アフリカ・中東の既存事業売上高は13.5%増加しました。北米の既存事業売上高は1.1%増加、中南米の既存事業売上高は8.0%増加、アジア太平洋地域の既存事業売上高は前年同期比で8.8%減少しました。

調整後の営業利益(EBIT)は795百万ユーロとなり、前年同期(842百万ユーロ)から5.6%減少しました。

調整後の売上高営業利益率(EBIT マージン)は、前年同期比1.4%パーセンテージポイント減の16.0%でした。

調整後の優先株(一株)あたり利益(EPS)は、前年同期の1.43ユーロを6.3%下回る1.34ユーロとなりました。為替変動の影響を除外しても、EPSは同じく6.3%減です。

売上高に対する正味運転資本は6.6%で、前年同期(6.2%)のレベルを上回りました。

フリーキャッシュフローは 523 百万ユーロで、前年同期(22 百万ユーロ)から大幅に増加しました。これは、当社が優れたフリーキャッシュフロー創出力を有していることを示しています。

2019 年 3 月 31 日時点では、正味財務状況はマイナス 2,478 百万ユーロでした(2018 年 12 月 31 日時点では、マイナス 2,895 百万ユーロ)。

事業部門別実績

接着技術事業部門の第 1 四半期の既存事業売上高は 0.8%減と、前年同期をわずかに下回りました。名目売上高は、1.7%増の 2,309 百万ユーロでした。調整後の営業利益は 388 百万ユーロに達したものの、前年同期の 410 百万ユーロを下回りました。調整後の売上高営業利益率は、前年同期の 18.1%に対して 16.8%となりました。

第 1 四半期のビューティーケア事業部門の既存事業売上高は、2.2%減となりました。名目売上高は、前年同期の 965 百万ユーロに対し、960 百万ユーロとなっています。調整後の営業利益は 144 百万ユーロ、調整後の売上高営業利益率は 15.0%で、いずれも前年同期を下回りました。

ランドリー&ホームケア事業部門の第 1 四半期の既存事業売上高は、4.7%増を記録しました。名目売上高は、6.3%増の 1,667 百万ユーロに達しました。調整後の営業利益は 286 百万ユーロで、前年同期と比較して 1.9%減少しました。調整後の売上高営業利益率は 17.1%に達したものの、前年比を下回りました。

ヘンケルについて

ヘンケルはバランスのよい、多角的なポートフォリオを備え、産業および一般消費者向け事業をグローバルに展開しています。優れたブランドとイノベーション、テクノロジーを誇るヘンケルは、アドヒーズブテクノロジーズ(接着技術)、ビューティーケア、ランドリー&ホームケアの 3 分野において、グローバルリーダーとしての地位を維持しています。1876 年に創立し、140 年以上に及ぶ成功の歴史があるヘンケルは、ドイツのデュッセルドルフに本社を置き、世界に約 53,000 名の社員を擁しています。サステナビリティの分野をリードする存在として評価されるヘンケルは、多くの国際的指標やランキングでトップの地位を維持しています。2018 年の売上高は 200 億ユーロ、営業利益はおよそ 35 億ユーロに上ります。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数 DAX のリストに入っております。さらなる情報はこちら www.henkel.com をご覧ください。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

コンタクト

Lars Witteck

Phone: +49 211 797 - 2606

Email: lars.witteck@henkel.com

Wulf Klüppelholz

Phone: +49 211 797 - 1875

Email: wulf.klueppelholz@henkel.com

Jennifer Ott

Phone: +49 211 797 - 2756

Email: jennifer.ott@henkel.com

Hanna Philipps

Phone: +49 211 797 - 3626

Email: hanna.philipps@henkel.com

— 本件に関するお問合せ先 —
ヘンケルジャパン株式会社 広報室 小野尾 秀美
TEL: 03-5783-1219 e-mail: hidemi.onoo@henkel.com

2019年第1四半期の主な業績

(単位: 百万ユーロ)	売上高	EBIT	EBITマージン
	第1四半期	第1四半期	第1四半期
接着技術			
2019年	2,309	381	16.5%
2018年	2,270	389	17.1%
既存事業売上高	-0.8%	-	-
2019年 調整後 ¹⁾	-	388	16.8%
2018年 調整後 ¹⁾	-	410	18.1%
ビューティーケア			
2019年	960	136	14.1%
2018年	965	152	15.8%
既存事業売上高	-2.2%	-	-
2019年 調整後 ¹⁾	-	144	15.0%
2018年 調整後 ¹⁾	-	161	16.7%
ランドリー&ホームケア			
2019年	1,667	243	14.6%
2018年	1,569	219	14.0%
既存事業売上高	4.7%	-	-
2019年 調整後 ¹⁾	-	286	17.1%
2018年 調整後 ¹⁾	-	291	18.5%
ヘンケル			
2019年	4,969	736	14.8%
2018年	4,835	739	15.3%
既存事業売上高	0.7%	-	-
2019年 調整後 ¹⁾	-	795	16.0%
2018年 調整後 ¹⁾	-	842	17.4%

ヘンケル	2018年第1四半期	2019年第1四半期	変動率
優先株(一株)あたり利益(ユーロ)	1.25	1.23	-1.6%
調整後の優先株(一株)あたり利益(ユーロ) ¹⁾	1.43	1.34	-6.3%
為替変動の影響を除外			-6.3%

1,000 ユーロ単位での数値に基づく変動率

¹⁾ 一時所得、一時費用およびリストラ費用を除く

Henkel AG & Co. KGaA, Investor Relations